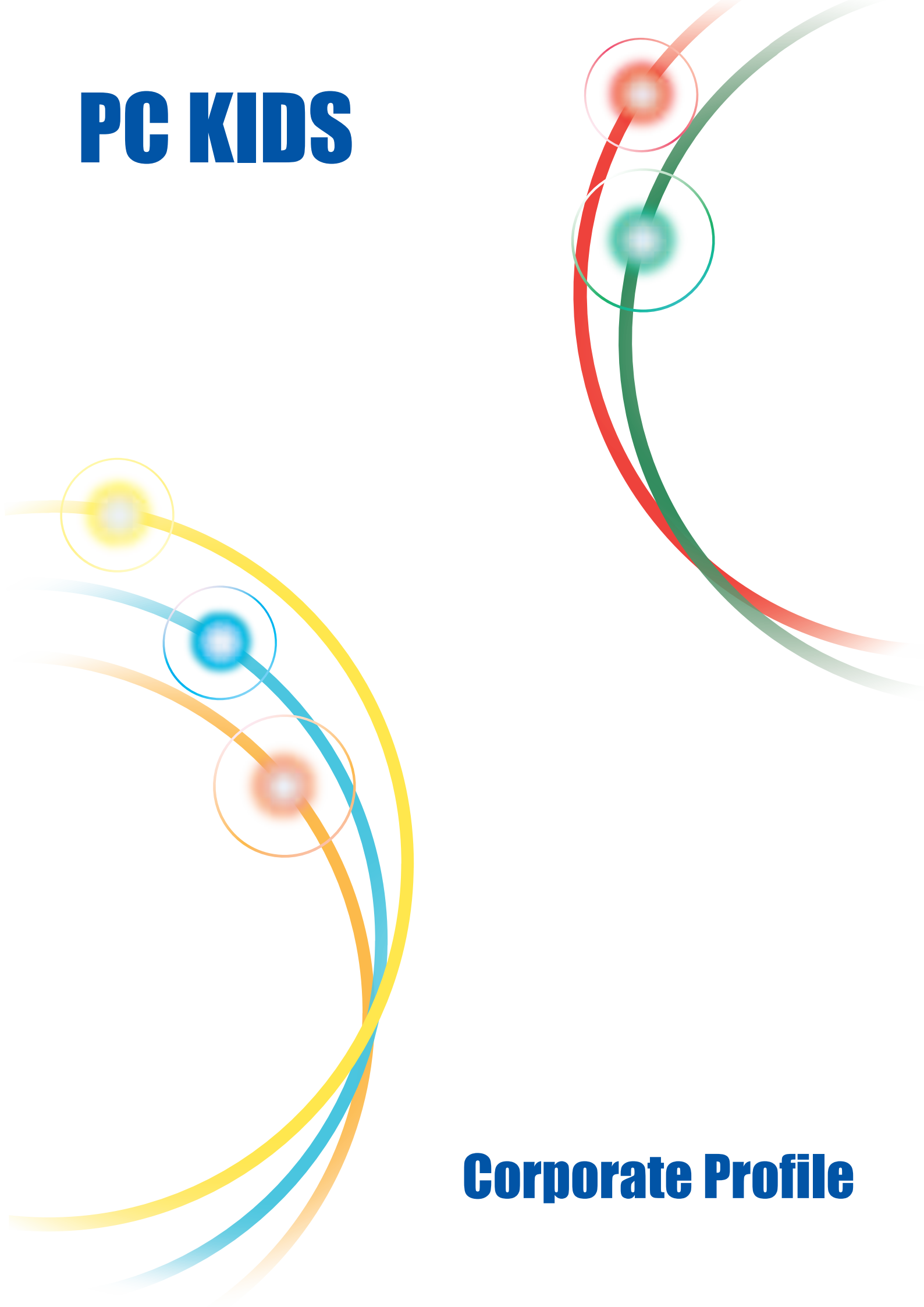


PC KIDS



Corporate Profile

代表取締役挨拶

Message From CEO



当社は創業以来「喜ばれる技術の提供」をスローガンに社員一丸となって技術向上に努めてまいりました。当社が米国のデータ復活分野において30年超の経験を持つドライブセイバーズ社と技術提携しデータ復活サービスを開始した当時、マーケット規模も小さく一般のお客様にサービスそのものをお知らせする事に時間を割く必要がございました。

その後日本市場においても理解が深まり、現在のようなデータ復活サービスのご利用が盛んになっています。

データ復活サービスのみならず社内で情報漏洩や不正があった時、パソコンのハードディスク内の調査を行うコンピュータフォレンジックサービス、e-discoveryサービス等も米国でトレーニングを受けた技術者がお客様の問題に対処しており、当社がご提供する結果に満足して頂いております。

また今後は当社独自開発によるロボット開発、特に人間の脳にあたる部分、人工知能(Artificial Intelligence)の開発にも力を注ぎ人間に対する貢献をロボットを通して行っていきたいと考えております。

技術的など満足だけではなく個人情報のセキュリティ面においてもお客様にご安心頂けるように、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際認証基準ISO/IEC27001や一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) によるプライバシーマークを取得しております。

いかにお客様の問題を迅速に解決し社会に貢献できるか日々研究を重ねている次第でございます。

株式会社ピーシーキッド

代表取締役

平岡 哲夫



ロボット事業

基礎知識

1. 人工知能とは

人工知能 (Artificial Intelligence) とは、人間の知的な言動を人間の代わりに行う機械 (コンピュータ) のことであり、一般的に人工知能システムは推論、学習、経験的知識、ヒューリスティクスなどの基本技術を組み合わせることによって実現されています。

人工知能は電子計算機が開発された直後 (1950 年頃) から研究されています。当時は人工知能システムが完成すれば人間のあらゆる問題が解決できると考えられていましたが、実際には基礎研究のレベルにとどまっていたのです。限られた記憶容量しかなく「常識」データを大量には入れられませんでしたし、あまり処理速度の速くない CPU では「考える」ことがほとんど出来ませんでした。やっと出来た対話プログラムは 2、3 歳の子供と話すようなレベルだったのです。期待が大きかった分、人工知能は何もできないという烙印を押されることになってしまいました。

最近になり、人工知能は適材適所で利用すべきと理解されるようになってきております。また、コンピュータも高速化し、クラウドやビッグ・データの時代でもあり、現在、人工知能は再び注目を集めているのです。

2. 人工知能開発の現在の状況

現代社会において、人工知能が利用されているのは以下のような分野です。

- (1) 深い思考による問題解決
- (2) 大量のデータの分析
- (3) 人間とのコミュニケーション

問題解決の分野は、例えば将棋ソフトが挙げられます。最近の将棋ソフトは、人間のプロ棋士と互角に対戦しています。コンピュータの高速化とアルゴリズムの改良によって、より深い思考が実現されてきています。

データ分析の分野の代表例は、検索エンジンです。文字列検索だけでなく、入力ミスを指摘したり、類義語を検索したりと年々知的になっています。ビッグ・データの時代だからできることなのです。

スマホの対話アプリは、コミュニケーションの分野に入ります。話しかけるとそれなりの返事をしてくれますが、実際に対話のデータ処理をしているのはクラウド上のサーバです。しかし、人間はスマホ自体とコミュニケーションが取れているように感じる事が出来るのです。



ピーシーキッドの人工知能による社会貢献

問題解決の分野やデータ分析の分野は、特定の限定された目的になりがちです。それに対してコミュニケーションの分野は、高齢者・認知症患者の話し相手、カウンセラー、高齢者の見守り、企業の受付窓口や展示会の案内係、ペットなど幅広く応用ができます。ピーシーキッドはコミュニケーション分野のような広い範囲で社会貢献を目指しています。

まず挙げられるのは介護業界です。介護士が厳しい労働条件で働いていることは、よく知られています。また認知症のお年寄りとはコミュニケーションが取りにくいという問題もあります。近年、介護用のロボットが開発されていますが、これにコミュニケーション用の人工知能システムを組み込むことによって介護士の負担を軽減し、かつお年寄りにコミュニケーションを楽しんでもらうことが可能になります。

また、教育業界も社会貢献できる分野です。共働きの夫婦にとって、小学校帰りの子供がちゃんと宿題をやるか心配なものだと思います。だからといって、家庭教師を雇うのは負担になります。そのようなとき、友達のようなコミュニケーション・ロボットがあれば、子供が勉強しているところを見守ってもらうことが可能になるでしょう。

上記のみならずピーシーキッドはロボット開発を通して、幅広い範囲での社会貢献を目指しております。

ピーシーキッドの人工知能開発

ピーシーキッドでは、最先端の技術に基づいて、人工知能に関するサービスを提供いたします。人工知能でお困りの方は、ぜひご相談ください。

(1) 人工知能システムの開発

- ・ソフト開発をしているが、人工知能部分の開発をしてほしい。
- ・自社製品に人工知能システムを組み込んでほしい。

(2) 人工知能のコンサルティング

- ・ソフト開発をしているが、人工知能部分でアドバイスがほしい。
- ・自社製品に人工知能システムを組み込むことは可能か相談したい。



データ復活サービス

弊社では創業時より、当時は珍しかったデータ復旧のサービスを提供してまいりました。データ復旧とは、様々な原因で消失してしまったデジタルデータを元の状態に戻すことです。

当社は社是である「喜ばれる技術の提供」をスローガンに、常にお客様の立場に立って安全で確実なサービスを提供するべく、ISO/IEC27001認証の取得やプライバシーマークの取得などによりお客様に安心して頂けるよう社内整備にも力を入れております。

世界最高レベルのデータ復旧企業と技術提携を行い、高い復旧技術を修得しお客様をサポートします。20年以上の実績からお客様の問題を迅速に解決致します。

データ復旧とは？

データ復旧とは、様々な原因で消失してしまったデジタルデータを元の状態に戻すことです。削除したデータの復元や、故障したハードディスクや SSD、CD/DVD などの記録メディアからデータを取り出します。



各種 OS や RAID 構成の NAS に対応

Windows はもちろん Linux (UNIX) や MacOS にも対応しております。サーバや NAS、RAID 構成のハードディスクなどシステムが複雑なものも専門のスタッフが対応致しますので安心してご依頼下さい。あらゆるメディアのデータ復旧に対応しております。お気軽にお問合せ下さい。



Mac データ復旧ならお任せ下さい

当社は iMac をはじめ Mac のデータ復旧を得意としております。Apple 製品は、分解方法やファイルシステムなど特殊なものが多くありますが、当社専門のスタッフが素早く丁寧に作業を行います。もちろん手数料などは頂きません。Mac のプロである当社に是非お任せ下さい。



論理障害と物理障害の違いとは

論理障害とは、フォーマットしてしまったりウイルスに感染した、誤ってデータを削除したなどの症状を指します。物理障害は HDD の物理的な故障を指します。



暗号化されたデータも復旧可能

社内の PC にセキュリティーをかけてしまいデータが取り戻せなくなるケースがあります。そんな暗号化されたデータを復元します。様々な暗号化ツールに対応しています。

※暗号化の方法によっては対応方法が変わりますのでご注意下さい。



データ復旧サービスの流れ

ホームページまたは申込書にてお申込み

障害メディアを弊社に発送

障害メディアの障害状況調査 (初期調査)

復旧費用お見積り

料金のお支払い

キャンセル

データ復旧作業の開始

復旧データ納品

データ復旧対象メディア (一例)



- ・ハードディスク (SSD 含む)
Windows/ Mac/ Linux/ UNIX 各種 OS 対応
- ・RAID/NAS (TeraStation, LinkStation 等)
- ・モバイル端末・iPhone
- ・デジカメメディア
コンパクトフラッシュ・スマートメディア
xD ピクチャーカード・メモリースティック
SD メモリーカード・マルチメディアカード
- ・その他
MO・フラッシュメモリー・FD・CD・DVD

弊社のサービスは、相談無料、診断無料、成功報酬制です。
どうぞお気軽にご相談下さい。

コンピュータ・フォレンジックサービス

フォレンジック(Forensics)とは、科学捜査や鑑識という意味の言葉です。コンピュータ・フォレンジック(Computer Forensics)とは、情報漏洩事件、犯罪、訴訟等の際に関係するデジタルデータを専門の手法やツールによって調査・分析し、法的証拠性を明らかにする、いわば「デジタル鑑識」ともいうべきものです。

情報漏洩や PC 不正使用の調査 / 分析

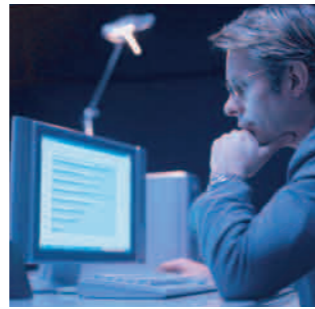
コンピュータ・フォレンジックサービスはデータの改竄、削除などにより既存のツールでは証拠を検出することが困難な被害を受けたデジタルデータについて、高度な専門ツールによって調査分析することにより、不正行為の追跡を行い、膨大なデータの中から決定的な証拠の発見をお手伝い致します。

長年の経験を持つデータ復活サービスの技術を基に、専門のスタッフがコンピュータ・フォレンジックの作業を行います。

- 企業情報の漏洩 顧客リスト、社外秘等の流出の有無
- 不正ダウンロード アクセス禁止のサーバからの内部情報の持ち出しの有無
- データの改竄 証拠隠滅のためのデータ消去の実行有無
- コンピュータの私的利用 業務以外の利用痕跡の有無

インシデント解決の為の適切なフォレンジック調査

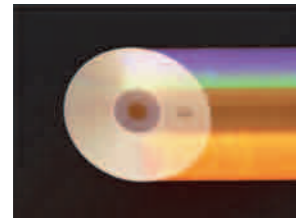
内部での行動が疑わしい、また不正が発生してしまった場合はその後の対応のためにも、詳細な事実関係を素早く的確に調査することが何よりも重要です。さらに組織内の関係者以外に疑惑や焦燥感を起こさせずに公正なフォレンジック調査を行うことが解決への一番の対策になります。



現代社会の背景

ある統計資料では全犯罪を内部犯罪(身内や従業員などが起こす犯罪)と外部犯罪(被害者(社)と加害者(社)とが全く関係がない、もしくはあっても犯罪発生のトリガーになるほどの因果関係がない犯罪)に分けると何と8割近くが内部犯罪に分類されます。

しかしながら、日本というカルチャーは世界でも珍しいほどセキュリティという概念が希薄で、万一内部犯行と判った場合にはそっと絨毯の下にゴミを覆い隠すように隠蔽してしまいがちです。私どものフォレンジック調査とは一言でいうなら「デジタル鑑識」と考えて下されば、近いイメージになると思います。



昨今、「不正調査」におけるフォレンジック調査の利用は確実に増加しております。ただし、他の犯罪に比べまだまだ扱いが軽いのが「情報セキュリティ犯罪」です。

例えば、売上100万円を使い込んだ場合では解雇事由として8割近く(77.9%)に達しているものの、社外秘の重要機密情報を漏洩させた場合では66%、コンピュータ上のデータやプログラムを改竄した場合は更に27%に留まっており、これは論理的、倫理的に問題ありと考えざるを得ません(数値は財団法人労務行政研究所調べ)。情報ファイル漏洩が売上100万円より低い解雇事由になっていることは、専門家として「恥ずかしい」気持ちになります。

この様な現代社会の背景の基、フォレンジック調査を退職者パソコン調査というニーズに合わせメニューの拡充を行うなど、時代に沿ったフォレンジック調査の方向性にも目を向けながら活動しております。

デジタルデータの複雑性

デジタルデータは大変揮発性の高いデータです。例えば事件などを調査するために、専門的な処置をせずパソコンの電源を入れてしまうと、OSの立ち上げの際に自動的に数百ものファイルが更新されてしまいます。これによりパソコンの最終ログイン日等が変更され事件発生後の証拠改竄の可能性の余地を残してしまいます。

現在のデジタルデータ(PC等)は十数年前のデータとはその形式が変わってきており、調査する際そのデータを見れば全てが簡単に分かるというわけにはいきません。Windows・Macなど使用者が便利になる一方、データ自体はどんどん複雑化しています。パスワードが掛かっているファイルもあります。また、レジストリなどといった通常のPC操作ではあまり目にしないようなデータに対しても解析していくことが、コンピュータ・フォレンジックでは重要な作業です。

弊社ではこれに対し、しっかりと知識と技術を持った者が作業にあたり、御社の企業情報漏洩や不正利用等を調査し、訴訟を含め全面的に支援いたします。

保管の継続性の証明

コンピュータ・フォレンジック調査を行う場合、裁判所など法的機関で証拠能力を証明するため、保管の継続性(Chain of Custody)に注意することが要求されます。

保管の継続性とは、証拠として提出されるデータが常に同一のものであり、調査の過程においてデータの改竄を行っていないことを証明していくことです。例えば、証拠となるハードディスクを現場で取得し当社のフォレンジックラボに持ち帰り、調査・解析を行い報告書をまとめ法廷に提出したとしても、それだけでは現場から当社までの輸送時に別のものに入れ替わった可能性は否定できません。さらに証拠として提出するデータに関しても改竄の可能性を否定できません。その問題を解決するため Chain of Custody 認証(CoC 認証)が存在します。

当社は CoC 認証を実現するため、証拠となるデータの移動をする毎に必ずハッシュ値を取ることで、そのデータの証拠性を保証しております。ハッシュ値とは、あるデータをハッシュ関数を通すことによって得られる値であり、そのデータを少しでも書き換えてしまうと得られるハッシュ値は全く違うものになってしまいます。それゆえに移動前のデータと移動後のデータのハッシュ値を比較し、一致することを確認することによってデータの同一性を確認します。主に使われるハッシュ関数は MD5、SHA-1 といった関数が存在します。



今までの調査例

退職者/異動者パソコン調査

→これは法人契約で年間契約(台数制限なし)、もしくは月10台や5台等の台数固定契約となります。いずれも原則は年間契約となります。ここでの反響はすごいものがあり、従業員に報知することで内部漏洩事故、事件が激減した企業様もございます。

Winny 利用痕跡調査

→これは従業員のパソコン(会社内かご自宅のパソコン)を調査して Winny の利用があったのか? あったならそれは何年前なのか? また、ウイルスに感染されたのかなどなど企業側にとっては極めて重要な判断材料に繋がるものです。

メール内容調査

→時間指定、宛先指定、添付ファイル有無指定、削除メール指定・・・そしてフォレンジック固有な作業としてはキーワード指定も実行可能(例えば、全メールで「社外秘」という単語があるメールのみチェックする)です。

会社概要

株式会社ピーシーキッド

本 社	〒101-0021 東京都千代田区外神田五丁目1番5号 国際ビルディング 3階 電話:03-6240-1860 FAX:03-6240-1861 フAX:0120-56-2982
大阪営業所	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目1番3号 大阪駅前第3ビル 15階 電話:06-4799-3650 FAX:06-4799-3651 フAX:0120-25-2982
創 業	1999年7月
資 本 金	3000万円
役 員	
代表取締役	平岡 哲夫 (CFE 公認不正検査士)
取 締 役	山内 崇
認 証 取 得	国際標準規格 ISO/IEC27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)取得 (1. データ復活サービス 2. フォレンジックサービス 3. データコピー・消去サービス) 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) による Pマーク取得
加盟団体	IDF (デジタルフォレンジック研究会) 正会員 (団体)
ホームページ	https://www.pckids.co.jp/
M A I L	support@pckids.co.jp

ITビジネス支援

ネットワーク構築からPC導入展開、ユーザーサポートまで御社のITビジネスをサポートします。
「システムは導入しているけど管理の方が…」、「今のPCを新しいものに入れ替えたい」、「急な仕事が入ってきて社員だけでは対応できない」など様々なIT関連のニーズに的確に対応いたします。データ復活業で培われた技術・知識を元に、当社のスタッフがITのプロとして御社のお悩みにお応えいたします。

人材派遣サービス

IT人材活用のプロとしてお客様のプロジェクトや戦略に応じて、必要な人数・期間で経験を重ねたクオリティの高い人材を提供致します。当社の高度なスキルを有するITスペシャリストたちが、お客様の企業戦略や経営課題をサポート致します。そして事業領域拡大などで必要となる各種関連業務人材を派遣しプロジェクトを応援します。急な案件にも当社の豊富な人材でワンストップで対応いたします。

こんなときに

必要なスキルを持った人材がなかなか見つからない。PC・サーバ管理・運営者に欠員ができた。
新規プロジェクト立ち上げに際し、ITに精通した人材が欲しい。オフィス移転に伴いPCの移設人員が必要。

対応職種(一部)

・SE ・PG ・ネットワークエンジニア ・ヘルプデスク
・テクニカルサポート ・データ入力 ・フィールドエンジニア

業務実績

- ・外資系金融機関でのトレーダー 150 席 (1200 アイテム) を 2 日間で移設。
- ・約一ヶ月間の短期間内での都内 100 拠点以上の官公庁施設における PC8000 台以上のセットアップ
- ・大手 PC メーカーのパーツセンターに当社スタッフが数十名常駐。その他多数。



IT 業務請負

プロジェクトに対しITチームを編成し、PC・サーバの導入・展開から、運用支援・保守などのIT業務請負も承っております。

導入展開

面倒なソフトウェアのインストールや、新しいソフトウェア、ハードウェアの導入を支援いたします。作業のスケジューリングから、セットアップ作業、PC 設置、アフターフォローまでを一括して承ることにより、お客様の業務の更なる効率化を御提案いたします。

運用支援・保守

パソコンが動かない、急に調子が悪くなったといった急なトラブルへの対処をお客様先に常駐して対応致します。長年にわたって培ったノウハウでお客様の業務を支援いたします。サーバの管理や監視、保守作業も行います。より効率のよいサーバの管理や監視、保守のためのコンサルティングも行えますので、お気軽にご相談ください。

キitting

大規模なPCの設定やソフトウェアのインストールを行います。基本設定の他、お客様のご要望にあったセットアップを行うことが可能です。また、既存PCからのデータ移行やデータ消去、既存PCの廃棄やリース品の返却も承ります。サーバのキitting等の複雑なものもお任せ下さい。

PC移設

事務所移転や配置換え、オフィスのレイアウト変更等の際のPC移設を行います。事前の移設計画から管理台帳の作成、移設後の立会いまで一括して承ります。長年培ってきたノウハウでお客様の業務ロスを最小限に抑えます。

